

No. 21

1991

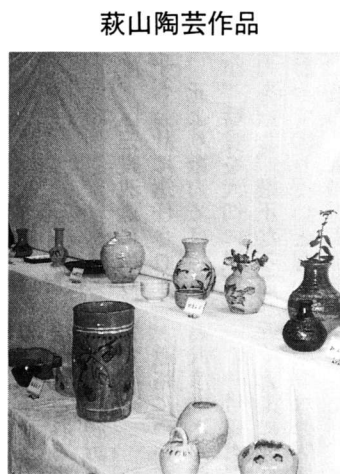
12月1日発行

# 萩の郷

発行者  
下市田区  
発行責任者  
下井武平  
印刷  
下市田・キタバヤシ印刷



敬老会々場（左側）



萩山陶芸作品

## 「文化まつり・敬老会」スナップ



ステージ発表（民謡クラブ）



水墨画クラブの展示

### 平成三年度

## 下市田文化祭り盛会で終る

去る十月十九日（土）～二十日（日）に、区と公民館共催による文化祭り及び敬老会を下市田公民館において開催しました。

この催しは、コミュニティ事業としてクラブの展示発表（書、絵画、生花、盆栽、陶芸、手芸、編物等）や、敬老会に併せ茶道部の接待、各クラブによるステージ発表（大正琴、詩吟、民謡、民謡、舞踊、カラオケ等）が行なわれました。

敬老会には、四七五名（七〇才以上）の方を招待しました。卒寿以上一六名（一名）、米寿祝五名（二名）、喜寿祝二三名（一名）、上記以外四三一名（一七三名）で、（ ）内は出席者数です。約四〇％の出席でありました。

二日間共、秋晴れの温かい天気でしたので、老人の方も、一般区民の方も大勢足を運んで観賞してくれました。なお、各クラブとも日頃の成果によるレベルアップがみられましたので、本年は出品作品に主催者としての率直な所見を各グループ毎に添付しておきました。文化の町にふさわしい区の行事でした。

# 下市田区 新三役の紹介と挨拶

区三役の任期が、十月末で終了するので、選挙管理委員会では十月十日までに、立候補者及び適任者の推薦の告示をしました。  
十月二十五日に、全区民による信任投票を行ない、新三役が決定しました。

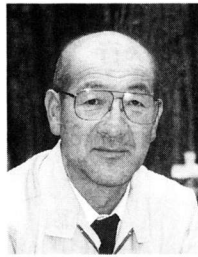


区長 下井武平

今度、任期満了に依る改選に際し、不肖私が区長として、四期目の大役をお引受けしました。

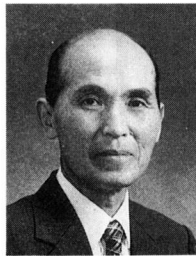
御承知の様に、区内には広域農道、農免道路、中段土地改良、相之沢川の改修、それに下水道問題等、大事業が山積しています。

私も元より微力者ですが、区の為に全力を尽す覚悟であります。区民の皆様の御支援と、御協力御鞭撻を心より御願ひ申し上げます。



副区長 富田隆仁

皆様お寒くなりました。



会計 仲平眞司

今度、区三役改選に当り計らずも会計に選任されました。元より微力ではあります。職責を大切に誠意と努力を重ね、厳正なる運営を計って参り度いと思ひます。宜しく御指導御鞭撻

お願ひします。  
最近国政は「ゆとりある」国民生活を指向するなかで、町も活力ある町、福祉の充実を目指し、諸政策の推進を目指して居り、町と住民の中間にある区の役割は大きく、常に区民生活を大事に考へて職務に従わねばと思つて居ります。

## 退任のご挨拶

前副区長 三島 勤

此の度一身上の都合もあり副区長の役を退かせて頂くことになりました。

区執行者始め区民の皆様には大変お世話様になり

## 区の情勢について

区長 下井 武平

裁判について、第二次裁判の第七回目が十月二日に開かれ、ようやく結審となりました。又数年来陳情していた巡礼沢、新井川の堰堤が決が下される事になりました。勿論勝訴と確信しています。

道路については、田村線湯沢彦雄さん前が着工され一―号線も保育園付近迄近く着工になります。黒沢下の排水の問題も永年の懸案でしたが、町の御骨折と

まして厚く御礼を申し上げます。  
此の十八年間の省りみまずと誠に感無量のものがあります。事に当る度毎に、人の心の温かさ、深き等々特に人の心の痛みを分ち合える人々の多きに接し、どれ程勉強させられたことか……。今後の処生の資とさせて頂きます。  
たくさんの心、心々のおみやげを胸に秘めて……老兵は静かに去らせて頂きます。夕下市田区よ、永遠に栄あれと、祈りつ。

## 平成3年度 下市田区一般会計決算報告書(中間)

(自 平成3年4月1日～至 平成3年9月30日)

既収入金計36,739,358円 既支出金計21,952,912円 差引残高14,786,446円

### I [収入金の部]

### II [支出金の部]

| 項目        | 予算額<br>千円 | 既収入額<br>円  | 予算残額<br>円  | 項目        | 予算額<br>千円 | 既支出額<br>円  | 予算残額<br>円   |
|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|-------------|
| 1.区 費     | 12,200    | 7,101,600  | 5,098,400  | 1.総 務 費   | 11,008    | 8,785,329  | 2,222,671   |
| 2.繰 入 金   | 9,000     | 8,085,223  | 914,777    | 2.厚 生 費   | 597       | 317,330    | 279,670     |
| 3.町 支 出 金 | 3,000     | 6,580,796  | △3,580,796 | 3.林 務 費   | 1,566     | 363,164    | 1,202,836   |
| 4.財 産 収 入 | 1,000     | 70,000     | 930,000    | 4.土 木 費   | 3,900     | 6,356,939  | △ 2,456,939 |
| 5.寄 付 金   | 1,500     | 1,353,584  | 146,416    | 5.水 利 費   | 2,560     | 4,151,308  | △ 1,591,308 |
| 6.消防義務金   | 1,200     | 1,090,000  | 110,000    | 6.消 防 費   | 2,465     | 978,842    | 1,486,158   |
| 7.諸 収 入 金 | 1,000     | 116,200    | 883,800    | 7.公 民 館 費 | 2,881     | 1,000,000  | 1,881,000   |
| 8.前期繰越金   | 9,500     | 12,341,955 | △2,841,955 | 8.公民館建設基金 | 5,000     | 0          | 5,000,000   |
|           |           |            |            | 9.予 備 費   | 8,423     | 0          | 8,423,000   |
| 合 計       | 38,400    | 36,739,358 | 1,660,642  | 合 計       | 38,400    | 21,952,912 | 16,447,088  |

濫しました。幸い大被害は免れましたが、上段地帯の開発や道路の改良、舗装等に原因すると考えられ、今後益々災害が増加する心配があります。抜本的な対策を、町と議会にお願いしたいと考えています。

最後に、町の振興計画の部単位での検討が終了し、近く区の取りまとめを行ない、町とのローリングを行ないます。この結果によって平成四年度の各種事業が実施をされる予定であります。



1区 小林 恵



4区 林 広志

盛会だった  
カラオケ大会

養部の合同による第九回下市田カラオケ大会が、去る九月二十八日(土)に公民館に於て、大勢の区民の皆様方の声援と、踊り、アトラクション等折り込まれ、盛大に取り行なわれました。審査員の先生方の慎重な

カラオケ大賞  
長良川艶歌  
仲平 伸……三区  
歌唱賞

想いで迷子  
高山樗吉……四区

スティックに打たれた五色のボールが、ホールめがけて転っていく。「やあ、しまった弱すぎた半分も届かない」「あの草がなければ〆」「いいぞ、いいぞ、すごい一発だ。」「やったあ、ホールインワンだ。」「うまいぞ、うまいぞ。」

コースのあちらこちらで子供のようにはしゃいでいる。日常の忙しさや、心配ごとを忘

## 各委員会対抗グランドゴルフ大会



「ン」「キューン」  
「………」

スティックに打たれた五色のボールが、ホールめがけて転っていく。

「やあ、しまった弱すぎた半分も届かない。」

「あの草がなければシ」

れてプレーしている姿は、実にほほえましく、また、雰囲気がか他では見られない和やかさである。

これは、残暑の厳しい九月一日の午後のことです。

各委員会から二十三名（約五十名）が下市田保育園庭に集って、腕を競いあいました。

初めてスティックを握る

人もあり、「どうやってやるの?」「どこでボールを打つのか?」等々でにぎやかでした。コースはハホールを二回転して、計十六ホールのトータルで順位をきめました。二回めになると皆上手になり能力に応じて満足のできるプレーがみられました。

入賞者は、



カラオケ大賞の仲平伸さん

下市田  
— 区報編集委員会の一面 — ひとこま

区報「秋の郷」十九・二十号に目を通していただけましたでしょうか。春祭り、ふれあい広場など地区の行事に合せた記事、各委員の方の紹介、職場訪問、随想など山盛りの内容のなかで紙面を埋めますが、担当者は、段数・字数に頭を抱えながら、みなさま方に原稿や写真をお願い

しております。少しでも多くの方に筆を執っていただき、区報に参加していただけるようにと考え、ております。原稿が集まり、紙面へ割付けますが、なかなか大変な作業で、カットで余白を埋めたりあの手この手で、親しみのある紙面へと、みんな真剣です。校正を済ませ、インクの臭いもすがすがしい出来たての区報を手にするのは、気分いいものです。こうすれば、ああすればの反省をつなげて斬新な捻りのある区報作りに編集委員一同取り組んでおります。



# 下市田区の 敬老会に招かれて

## 嬉しい一日でした

林 ゆ き

菊かおるこの佳き日に、敬老会文化祭に招待戴きまして誠に有難うございました。区長さん、公民館長さん、来賓の皆様方の暖かいご祝辞をいただきまして、大変に嬉しく存じました。次に喜寿のお祝いでしたが、大勢いらっしゃいました。米寿となりますとまこと

## 楽しい一日でした

伊 藤 智 恵



喜寿の伊藤智恵さん

年を重ねた大勢の人達をお招き戴き有難うございました。町長さん、区長さんよりお祝いの言葉と心尽くしの記念品を戴き有難く感謝申し上げます。二階には、区民の皆様の立派な種々の作品が沢山出品されていて唯々驚くばかりで、大変に励みとなりました。



米寿の林ゆきさん

昨年、夫、薫がお祝いをいただきまして、二年重なる喜びを皆様に厚く御礼申し上げます。

した。敬老会の席では、沢山のご馳走を戴きながら舞台での余興をみさせて戴き楽しい一日でした。元気で出席できたことを幸せに思っています。私事で恐縮ですが、私の父は昭和三年、五十才で腸捻転になり四、五日病床にいて他界しました。それと同時に家、田畑も人の手に渡り路頭に迷いました。父は、子煩悩な人で道楽一つしない真面目な人でした。母は、私を先頭に四人

の子供をかかえて育ててくれました。その母は、私たちに「いくら貧乏をしても心までは貧乏するな。心は高く、気は低く」と申しておりました。

やがて長男は、出征し、弟も国鉄へ就職しました。母は、疲れがでたのか正月世を去り、その秋に妹も亡くなりました。私は主人とめぐり逢い一児の母でしたが、あまりにも無情で神も仏もないと世間を恨みました。

やがて終戦となり、主人と弟、私の弟も帰省してきました。私は、悲しい時、何時も「お母さん、助けて」と手を合わせます。

今、私は町の公民館で、座光寺先生のご指導の元に絵の勉強をさせて戴いております。生甲斐としています。ほんとに有難いことだと感謝申し上げます。

なお、下市田文化祭及び敬老会開催については、公民館や関係の方々、準備片付等で大変にご苦勞様でした。お世話様になりました。

※伊藤さんの絵「亡き姉の思い出」は、今秋の県展で入選しています。

(編集委員)

# 文化祭・敬老会を振り返って

(教養部)

十月十九日(土)二十日(日)下市田公民館に於いて、文化祭・敬老会が開催されました。

敬老会に並行しての茶道部の接待は、何年も続けられ、皆様に定着し、今年も大勢の方が、お点前をいただきました。

又、二階の展示会場では、十六グループの書、絵画、水墨画、生花、盆栽、手芸、陶芸等一年間のたゆまぬ勉強の成果が、ひしひしと感じられ、どれをとってもすばらしい出来ばえでした。その作品に今年は、寸評がつけられ、好評でした。

敬老会の式典では、四十名の長寿の方々の表彰が行われ、尚一層健かにと、心からお祈りします。

次に、十九グループの発表会がステージで始まり、次々と、華麗な舞踊、民謡、大正琴、詩吟、カラオケと、趣味に寄せるひたむきな熱意と努力の賜と、皆、感嘆して拍手、拍手、会場は、いつしか酔いしれて、賑わい、一体となつてなごやかに盛り上りました。最後に、高森音頭を全員で踊って、秋晴れの一日を心ゆくまで楽しめる事が出来ました。



作品展示風景(2階)

尚、文化祭を振り返って、一日目の午後は、観賞していた人々が少なく、何かもう一つ、引きつける物を企画すれば、もっと多くの方々が来ていただけたのではないかと思ひ、次年度の検討課題とします。

◇◇

## 楽しく地域活動に参加!!

四区 坂元 勉

平成二年一月に、父母共ライバシーの住共この下市田にやってみてまいりました。当時はまだ歩く事もできなかった子供も、今では家の回りを駆けまわり、時の流れの早さを感じる今日この頃です。平成二年三月より、

地域情報の吸収や、コミュニケーションの場としての集まりは、この高森町を全く知らない私にとりましては、大変勉強になっております。

現在、交通安全協会の役を頂き他の常会の方達との交流も多くなり、楽しく地域の活動に参加させて頂いております。

## 豊かな自然に満喫!!

六区 松尾 浩次

下市田に縁 あって引越してまいりました。早や一年四ヶ月たちま

した。私の生まれは天竜舟下りの終点の天竜峡ですが、生来の旅行好きが高じて、北海道から九州迄、各地を

て、早や一年四ヶ月たちました。私の生まれは天竜舟下りの終点の天竜峡ですが、生来の旅行好きが高じて、北海道から九州迄、各地を



## 下市田工業団地シリーズ

8

## 物流会のドクター

## 甲州車体工業株式会社

当社は、平成二年九月一日より、この下市田工業団地に資本金一〇〇〇万円で新規事業としてトラックのボデーの製造、修理、販売を行う物流会のドクター的立場で営業を開始致しました。当社の敷地は一五〇〇坪で建物はウイングボデーの製造、事故車等の修理は三〇〇坪の工場（完成）、板金・塗装関係は一〇〇坪（平成四年度完成予定）で、お客様のニーズに答える様スピーディーな対応に心がけています。現在の社員数は二〇名ですが、将来的に

は事業の充実化を計るために五〇名位のスタッフを予定しています。事業内容としては、主にウイングの組立作業をはじめボデーの乗せ替え、再生、事故車両の修理・板金・塗装、中古ボデーの販売等、地域の皆様に信頼されるよう、かつての経験とノウハウを駆使して会社づくり

に励んでまいります。ますます多様化する物流時代に、車体をはじめ荷役機器まで、輸送・荷役等、物流全般にわたるニーズに対応し、高い品質と信頼される製品の開発に常に取り組み、業界の皆様から喜ばれる会社となるための技術開発・設備投資に

おしみなく対応し、無限の可能性にチャレンジしていきたいと考えています。ボデー開発・試作等、新しい分野に挑戦し、夢をいだき、若い力で将来を見つめ、地元への貢献度の高い企業作りを目標とし、皆様方の御指導のもとに成長していきたいと、社長始め社員一同毎日仕事に励んでいますので、御協力の程よろしくお願い致します。



自然探訪

「下市田の樹木」(二)  
白雲木(エゴノ木科)

平澤 忍 夫

私がハクウンボクを取り上げたのは、植えた人を知っていたのだと思ったからでございます。

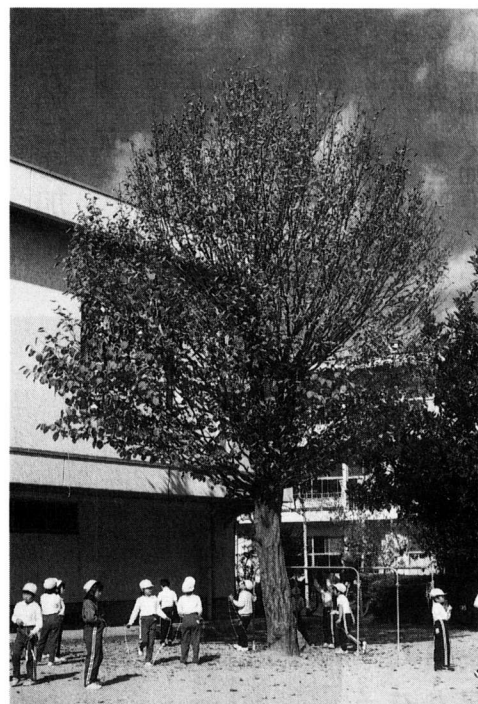
このハクウンボクは高森南小学校の体育館入口に立っています。

私がこの木に気がついたのは、今年五月下市田三区の小運動会の日でした。見なれない木だが何だろうか、とよく見たが見当がつかない。帰って図鑑を調べたところ、ハクウンボクと分りました。私もハクウンボクは図鑑で見てハクウンボク

松島先生にお聞きしたところ、分らないとのことでした。そして一ヶ月すぎた頃松島先生から有線をいただき植えた人が分った。奥原先生だ。植物の大家の奥原弘人先生でした。

先日松本で奥原先生に会って話を聞いてきた。奥原先生が南小学校に赴任された二十五才のとき、大島山の山から腰丈くらいののを持って来られて植えられたとのことでした。

若き教師が残した一本のハクウンボクが南小校舎の改築の折に切られず残った。そして年々花を咲かせ、葉を茂らせ、幾つかの実を結び、子供達が元気にその下で運動しているのを見て、木を植えた人を偲びながら、自分は何をしてきたのかと自問自答をしている。



「白雲木」

こんでおられた。大島山の山にハクウンボクがあったのだ。今高森の山のどこかにハクウンボクがある。自生しているハクウンボクを見たい。しかしもう、松・松・杉・葉松が植林されてしまっていることができるだろうか。私にまたひとつ宿題が残されました。

平成元年十一月より、會計一年生として就任した。今迄に経理の覚えがないので先輩諸兄に聞いたところ、其の日にあった出入について、その日の内に処理することが鉄則と教えられた。よし二年間その通りにと決意して事に当たって来た。大人の世界であり、夜遅くなったり、お酒が入ったりで其の日の鉄則が大変きつかった。その為か入金出金の記帳が乱雑であつたりして、一日一日の歴史が偲ばれる。鉄則を貫いた証しでもある。又、二年間の内印象に残るのが、平成二年度の決算である。取り扱っている本人自身が決算を組んでみて実に驚いた。

下市田区 会計奮戦記

富田 隆 仁

入金総計が五千九百八十万円、六千万円大台へと一歩である。その財政規模の大きさと区の力に目を見張り、決算報告をするのに胸の高鳴りを覚えた。区世帯数約千戸であるため、一戸平均六万円であり一戸一戸の総力が区の会計をとおる自治体の運営や、公共施設の整備、社会環境の整備、社会教育の充実にと目的にそい予算が消化されて行く。大きくは国、小さくは区、大した違いはないと思う。

又、区費の占める割合は法人個人合わせて、一千三百万円であるため、一戸に直すと一万三千円である。残りの四千七百万円は財産収入、町支出金、消防義務金、諸収入、工事負担金等である。入金総計六千万円のため区費の占める割合は二一％である。又、区の出入の運用が健全であるかの比較は出来ないが、単年度で見ると、財産収入一千七百万円であり、区費と合わせると三千万円であり、入金全体の五〇％が自主財源と考えると、先人の努力と先見性に敬意と驚きをきんじ得ない。

又、出の方に目を転じて見よう。四千七百万円が総支出金であり、その内社会資本の充実整備に一千六百万円であり全体の三四％が使われている。

又、教養を高め地域意識の高揚へと大活躍の公民館事業へ建設基金を合わせると八百万円であり一六％を占めている。又、民生安定の面で厚生費、消防費等六％を占め、全体運営費一千三百万円中二七％を、その他年度繰越金二三％で全体が構成されている。

次年度への二三％は決算時には多い様であるが、町全体のしくみから、公共事業負担金その他で五月、六月でほとんど底をつく状況である。

平成二年度の決算について数字を入れながら特徴を書いてみたが、例年どおりに行くととはとても考えられない。地区計画が始まり、五ヶ年を経過しその成果が頂点に達しつつある平成二年、三年であるため、町支出金、工事負担金、土木、水利、消防施設等が増している。又、入の部分でここ近年公定歩合の引上げに依り、財産収入が増えて来た点も見逃す事が出来ない。

今日、公定歩合の引下げの中、出と入のバランスをもう一度見直すことも肝要と思う。

バブルが消え、裸になった時、何を考えるか、ある意味では正念場かも知れない。

## 随想

## 旅

## 大石 幸子 (六区)

旅と聞けば普通海外旅行、温泉旅行、同年・会社の親睦旅行、エトセトラ。違うのです。私の旅という言葉の思

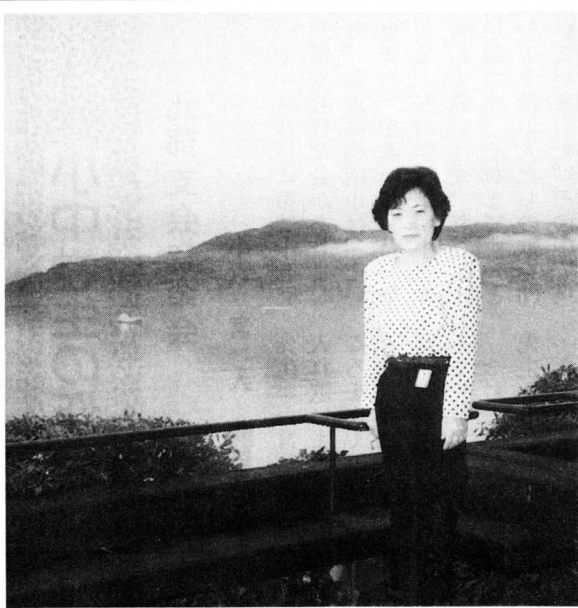
い出は、何十年前私がこの地へ嫁いで来た時云われ

した「旅から来た嫁」、一瞬何の事か理解出来ません

した。そして考えました。この土地以外から嫁いで来

た人間の事をさして云うのだと。あえてその言葉の意味を人に聞かなかったのは私の心の中に何か反発する

現在では外国の方と結婚



する方も大勢いる世の中です。私の職業上花嫁支度をさせて頂きます。そんな時、母親の様な思いで幸せにと願わずにはいられません。

舅姑共この五年の間にあの世に旅立ちました。

息子も早く人生の伴侶がほしい年頃になりました。

もし縁あって同じ屋根の下に住む事が出来れば、人間同志として、二度とない人生というすばらしい旅をしたいと男う今日此の頃なのです。

## 幻の名花

## 串原 喜代枝 (三区)

Sさんから夜来香の花の小枝を頂いたのは十月始めのことだった。

枝の切口には水を含ませた脱脂綿が巻かれ、全体をうすい紙で覆ってあった。

夜来香はカガイモ科のツル植物であるという。この

夜来香は年配の方には、戦時中に彼の李香蘭の唄った流行歌でよく知られているが、実物の花はまれである。

私は、透明な瓶に挿して夜を待った。八時近くにな

ると、一・五センチほどの筒花がひかえめに一輪開い

## 倅せ捜して

## 吉川 広子 (一区)

後継者問題が叫ばれ、中南米・東南アジアまで捜し求めるほどの深刻な事態は昨今の問題ではなく、これ

からもますます拍車のかかる事かもしれない。そして今日、三十

歳過ぎても、また四十歳近くになっても



なお独身を余儀無くされている男性は全国いたるところにお

夜来香につつまれてる間に戦意を失ったという伝説があるが……。

夜明けとともにさしもの香りが嘘のように消え失せた。そして静かに花を閉じはじめるとき、筒花の中の芯が妖しいばかりに艶やかに光った。

あこがれつづけた、幻の花に出会いえた一日だった。



いでになります。彼等が生涯独身を貫くということは祖先伝来の経営(生活)が断続することになり、家族にとっても不幸な事態が生じます。

結婚は基本的にはあくまで本人の問題であり、あらゆる時、あらゆる場を通じて常にそのチャンスをつかむように心掛けなければなりません。また、結婚適齢期にある男女比が圧倒的に男性が多く、それに加え、女性が結婚を急がなくなってきたのも事実です。

農家だって決して全部の女性が希望しないわけではありません。豊かな自然、太陽の恵み等現代人の郷愁ばかりではなく、心から求めている人もおります。

健康で明るく楽しい人間関係を創れる人、寛容で包容力に富み常に社会に目を向けられる人、積極的に自分の人生の夢を築いていくとする意欲のあふれる人等の条件がより一つでも多い人こそが、この問題解決への糸口ではないでしょうか。ひとりでも多くの方が倅せな生活が営めるためのお力添えをするために、これからも努力して参りたいと思います。

# 小中学生の作文

## 北部支会音楽会

小六 宮入 麻里子(二区)

十一月八日に第二十七回北部支会音楽会がありました。私達高森南小は、「広い世界へ」を歌いました。全部で十三の学校が南小の体育館で歌います。私達は十三番です。それまでずっと他の学校の人たちの歌を聞いていました。その中では、喬木第一の「涙をこえて」が一番上手に聞こえました。いよいよ私達の番です。アナウンスが聞こえステージに上りました。校内音楽会の時よりきんちようしませんでした。そして、音楽の



向かって右が麻里子さん

## 世界の大動物園

小二 木村 美咲(四区)

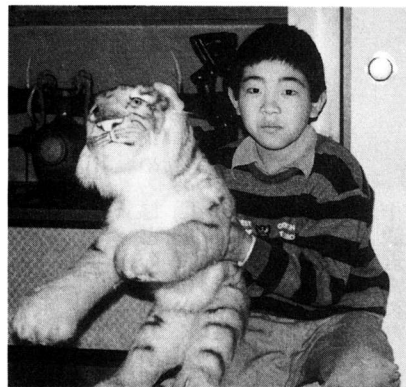
三種にせかいの大自然が来ました。お父さんが私たち三人、おねえちゃん、妹と、つれて行ってくれました。山のけしきがよく、みどり、きみどり、赤と、きれいにこうようしていました。どうぶつえんには、トラ、ゴリラ、ラクダといろいろなどうぶつがいきました。お父さんから百円もらってにんじんをかい、

## 楽しかったキャンプ

小五 棚田 恭平(五区)

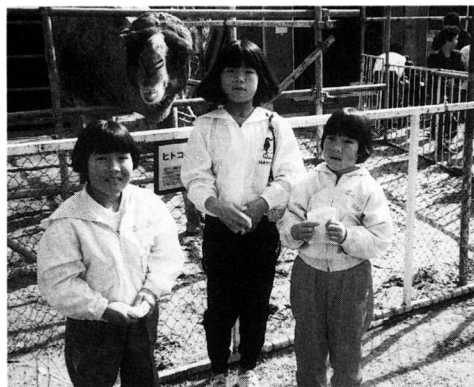
八月八日に、下市田五区のキャンプが「松川青年の家」で、行われました。PTAの役員の人や、育成会の人達の車できました。目的の地に着くと、すぐにおやつと、水着を持って川遊びに行きました。川に着くまでが山道で苦労したけど、みんながんばって歩きました。

川では、ぼくは、川の流れて逆らって泳ぎました。けれども、流れが強くて、前に進めませんでした。大



恭平君

いろいろなどうぶつにえさもやれたし、いろいろなどうぶつを見るのができ、とてもたのしい一日でした。どのどうぶつもおとなしくしていたけれど、ちょっとしたことで、おおあはれして、人げんがいをあたえるおそろしいどうぶつだと思っています。わたしは、どうぶつえんに



向かって左が美咲ちゃん

## 編集後記

編集会を終って公民館の外へ出ると、北西の風が冷めたい。月明りに落葉が舞っている。「寒くなったなあ。」と言いついて別れる。

二十一号は改選された区三役と氏子総代の紹介のほか先だつての文化祭り、敬老会、カラオケ大会の記録や参加者の声。これ等の行事の反省意見などを中心にまとめました。

随想その他の原稿を快くご協力いただきありがとうございます。区報の編集について忌憚のない感想や意見をお寄せください。